

# 河川事業 二級河川武庫川水系相野川（継続：再評価〔第1回〕）

## 位置図



## 事業概要および進捗状況

工区	事業区間	整備内容	計画規模	今回評価時点	前回評価時点	
武庫川水系 相野川	三田市洞 ～ 三田市 しもあいの 下相野	整備延長1,700m 上流工区800m  下流工区900m 河道掘削 7,000m <sup>3</sup> 護岸整備 9,000m <sup>2</sup>	1/2	事業費	6.0億	3.5億
				残事業費	2.9億	3.5億
				進捗率	51.6%	0%
				完了予定年度	R7	R1

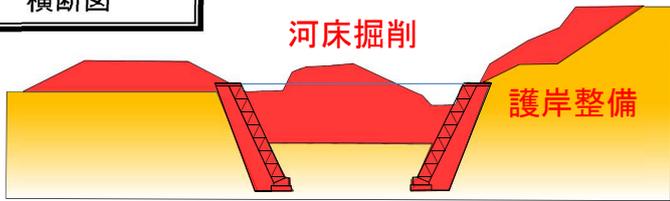
武庫川水系 新規事業評価年度	平成22年度
河川整備計画策定年度	平成23年度
相野川新規事業評価年度	平成25年度

河川整備計画に位置づけられた全ての事業によるB/C	12.4
---------------------------	------

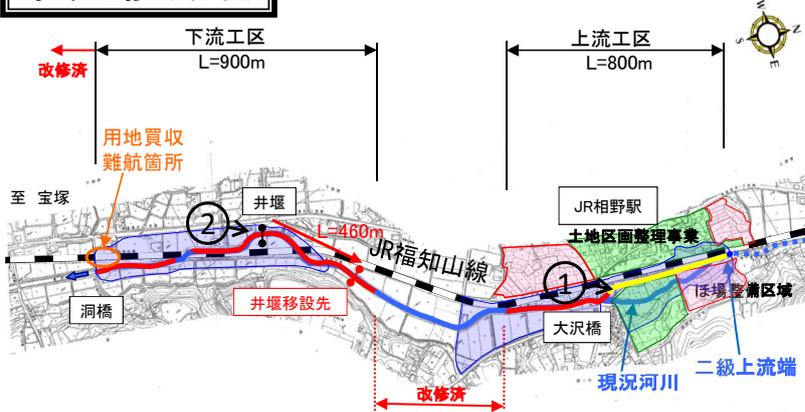
## 事業の目的、必要性・優先性

目的	①当該箇所は、河積が狭小（現況流下能力約15m <sup>3</sup> /s）であり、平成8年8月の豪雨や平成16年台風23号による洪水では床下浸水や田畑の冠水が発生した。このため、戦後最大洪水（S36.6洪水）と同規模の計画流量45m <sup>3</sup> /sを目標として河川改修を行い、沿川の治水安全度向上を図る。
必要性 優先性	①現況流下能力は約15m <sup>3</sup> /sであり、計画流量45m <sup>3</sup> /sの3割程度しかなく、治水安全度が低い。 ②平成24年度より集落地域整備法を活用した基盤整備（H24～R8）に着手しており、本事業との一体整備で効率的な地域整備ができる。

## 横断面図



## 事業進捗平面図



凡例（進捗状況等）

- H27以前
- H28～R2
- R3以降
- H16浸水区域

## 現況写真

①完成区間（上流工区相野駅付近）



②残事業区間（下流工区井堰）



## 工程表

■ : 前回計画  
■ : 実施・計画

整備内容	前期										後期									
	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
調査設計																				
上流工区																				
用地補償																				
築堤・護岸																				
ほ場整備事業																				
区画整理事業																				
下流工区																				
調査設計																				
用地補償																				
築堤・護岸																				

## 進捗状況

	事業進捗状況・予定	整備効果
河川整備計画全体	H26～R7 【事業費＝6.0億円】 ・整備延長 1,700m ・整備概要：河床掘削、護岸	流下能力の向上 （戦後最大の洪水である昭和36年6月27日洪水を安全に流下）
整備計画策定～再評価まで	H26～R2 【事業費＝3.1億円】 ・整備延長 400m ・整備概要：河床掘削、護岸	流下能力の向上
今後予定	R3～R7 【事業費＝2.9億円】 ・整備延長 1300m ・整備概要：河床掘削、護岸	流下能力の向上 （戦後最大の洪水である昭和36年6月27日洪水を安全に流下）

## 再評価の経緯・結果

再評価に至る経緯等	当初は、下流工区の整備を進めつつ、上流工区で土地区画整理事業等と時期を合わせた整備を行う予定であった。しかし、下流工区は、相続問題による洞橋上流の用地買収難航、井堰改築に関する地元調整難航によって工程が約5年遅延した。また、上流工区は、土地区画整理事業の遅れに伴い、残区間の工事着手が遅れ、事業完了が令和7年度になる見込みである。
再評価の結果	事業の必要性は事業採択時と変わらず、事業執行環境も整っていることから、継続して事業実施する必要がある。